

【取組内容】 Googleカレンダーを用いた個人面談の予約作成

1 取組内容

夏休みの初めに行う全保護者対象の個人面談の際に、従来は紙で実施予定日を知らせ、その後希望調査をし、決定版を出すということをしてきた。今年度からそれをやめ、Googleカレンダーで保護者が直接希望日を入力する方法にした。

2 導入効果

全保護者を対象に今回のインターネットでの予約方法についてのアンケートを実施したところ「インターネットが良かった」…65.5% 「紙が良かった」…12.5% 「どちらでも構わない」…22%という結果だった。

また、教職員にアンケートをしたところ、「インターネットが良かった」…100%だった。このことから、インターネットでの予約に良さを感じた人が圧倒的に多く、導入効果が大きかったことが分かる。本校のように700人弱の規模の学校でも大きな混乱なくできたことは、様々な学校で今後導入していく足がかりにもなるのではないかと思う。

3 課題・対応

・紙が良かったという12.5%の保護者への対応

・子供の端末以外でも予約できるようにしてほしいという要望

・教職員の技術面のフォロー

- ・どうしても技術面でインターネット予約をすることができない保護者へは個別対応をする。
- ・継続していくことで保護者にも操作に慣れてもらう。
- ・端末を子どものものに限定することで、クラスルーム内メンバーのカレンダー共有を安全管理できる上、予約の不公平が生じにくい。このことを保護者に周知し、理解を求める。
- ・今年度同様、教務、視聴覚部で先行して設定技術を習得し、練習や試行期間を設ける。

4 具体的な内容



先生方用予約枠の設定の仕方（公開閲覧リンク）

保護者用予約のとり方の説明（公開閲覧リンク）



<タイムスケジュール>

- ★5月上旬…職員会議で個人面談ネット予約概要提案
 - ★5月下旬…Googleカレンダー設定方法を職員に説明
 - ★6月上旬…試行・練習期間
 - ★6月中旬…保護者への周知と予約開始（先行予約…特別支援学級・通級指導教室）
- ※通常学級はすべて6月〇日19時から予約開始、というように開始日時を揃えた。

【取組内容】 デジタル備品台帳の作成

1 取組内容

夏と冬にある視聴覚機器の備品整理をする際、デジタル備品台帳を作成し備品チェックを容易にする取り組みをした。

2 導入効果

- ・製品番号だけでどんな備品か分からないものが、写真で分かるようになった。
- ・紙媒体では、場所も、製品もバラバラに書いてあったが、エクセルのフィルター機能を活用することで、まとめて対応することができた。

3 課題・対応

- ・初回の登録作業が大変
- ・備品台帳は紙でないか？

- ▶ 品目ごとに少しずつ蓄積していく
- ▶ デジタルでチェック。印刷して、紙で提出とする。

4 具体的な内容

ソートと共に写真が動くように設定しています。

このボタンを押すとソートをかけることができます。

備品名	種類	場所	金額	写真	在庫	備品
校務用コンピューター	モニター	職員室	54,989		35	35
校務用ディスプレイ	モニター	職員室	11,000		2	2

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につなぐ授業実践例

公開授業

学年部会で個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業を構想し、公開授業を行った。

生活科（1年生）

○単元名

ふゆ だいすき
（小単元）かぞく だいすき

○本時の目標

家庭における家族の活動や様子の観察の結果を交流し、自分や家族が笑顔になる瞬間やその理由について考えることができる。

○ICT活用

- ①情報の整理・分析の過程で、取材結果を、Yチャートを用い、3つの視点で分類させる。
- ②本時のふりかえり。



音楽科（4年生）

○題材名

日本の音楽でつながろう

○本時の目標

3人一組になり、それぞれがつくった旋律のつなげ方の工夫を考えながら、8小節の旋律をつくり、自分が選んだ楽器で演奏したり、聴き合ったりできる。

○ICT活用

- ①教科書付属のコンテンツを用い、旋律づくりをさせる。
- ②旋律カードの並べ替えをさせる。（他グループがつくった旋律を他者参照できるようにしておく。）
- ③自分たちの演奏動画撮影。
- ④京都市が作成した教材「コトラッチ」の活用。



図画工作科（5年生）

○単元名

動いてクレイアニメーション

○本時の目標

クレイアニメーションの仕組みや手順、必要なものについて理解する。

○ICT活用

- ①課題設定の過程で、教師が作ったクレイアニメーションを見せ、学習意欲を高める。
- ②情報収集のためのリンク集を用意して、自由に活用させる。
- ③整理分析で、まとめたシートを他者参照できるようにしておく。



【取組内容】 児童が主体的に学ぶための単元計画の提示

単元計画の提示

子供が主体的に学ぶための授業づくりをすること



- ◆子供たちの思考の流れを意識した単元構想
- ◆単元を通して付けたい力を明確にした単元計画
- ◆1時間の授業でめざす子どもの姿の明確化



- ◆単元を通して付けたい力を意識した。
- ◆子供の思考の流れを意識することでめざす子どもの姿を設定。
- ◆ねらいを達成するための言語活動を具体的に設定。
- ◆めざす子どもの姿を実現するためにぴったりの教材・題材を工夫。

4年国語科 「未来につなぐ工芸品」

時	めあて	まどめ	ふり返り
一	みんなの感想を聞き、学習計画を立てよう。		
二	筆者の考えを見つけて、段々に分けて、初めに分けて、各段のキーワードを見つけて、家をかんざいさせよう。		
三	各段のキーワードを見つけて、家をかんざいさせよう。		
四	キーワードを約しよう。		
五	筆者の考えに対して、自分の考えを書こう。		
六	みんなの考えを伝え合おう。		

国語科では単元学習計画を教室に掲示、児童のノートにも貼り学び方のふり返りを蓄積していく。

3年国語科 「ちいちゃんのかげおくり」



時	めあて	まどめ	ふり返り
一			
二			
三			
四			
五			
六			

まず、学習課題を知り、単元学習計画を立てます。自由進度学習を取り入れる場合は、1時間ごとにめあてを立て、めあてに対するまどめを書き、学び方のふり返りをして、学びの足跡を残していきます。

【取組内容】 児童が主体的に学ぶための魅力的な学習課題の提示

魅力的な学習課題

魅力的な学習課題とは、「目的意識・相手意識」や「評価の観点」などの要素を考えた上で、それらを織り込んで児童が主体的に学習に取り組めるような課題です。児童は学習の目的を明確にできます。

下の表は、本校で今年度取り組んだ魅力的な学習課題の一部です。

	国語科		社会科
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・ともだちに、じぶんの好きな本をしょうかいしよう。「おかゆの おなべ」 ・じぶんのだいすきなひとに、がんばっていることをしらせるてがみをかこう。「てがみでしらせよう」 	4年生	<ul style="list-style-type: none"> ・防災CMを作ろう。（「自然災害から命を守る活動」） ・長崎くんちをこれからも続けるためにどうしたらよいか、歴史文化博物館の人に提案しよう。（「わたしたちのまちに伝わる祭り」） ・「長崎市の水道ができるまで」についてのショート動画を作ろう。（「市のはってんにつくした人<命の水をもとめて>」）
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・お家の人に「ふきのとう」の音読発表会をしよう。 ・賢いと思ったたんぼぼの知恵とそのわけを「たんぼぼ知恵図鑑」に書いて発表しよう。 		
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・3年4組をパワーアップさせるために必要な係を考えよう。（「こんな係がクラスにほしい」） ・ちいちゃんに手紙を書こう。 	6年生	<p>算数科</p> <p>体積の求め方を学習し、小榊小BIGグランプリを決めよう。（「角柱と円柱の体積の求め方を考えよう」）</p>
4年生	<ul style="list-style-type: none"> ・新美南吉作品を、お世話になったアスカの利用者の方たちに紹介しよう。 ・キミは探偵！あやしいポイントを探りながら推理していこう。（「友情のかべ新聞」） ・お家の人にクラスの楽しさを伝える、学級新聞を作ろう。（「新聞をつくらう」） 		
5年生	<ul style="list-style-type: none"> ・小榊小をよりよくするための企画会議をしよう。（「よりよい学校生活のために」） ・偉人の伝記を読み、心にひびいたことを自分自身のことと関わらせて書こう。（「やなせたかし-アンパンマンの勇氣」） 	5年生	<p>図画工作科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お家の方に「あったらいいと思う町」を解説スライドで伝えよう。（「あったらいい町 どんな町」） ・友達にクラックのしくみを使ったおもちゃが動いているところを動画にして面白さを伝えよう。（「くるくる回して」）
6年生	<p>みりよくを伝える技を学び、行ってみたい1グランプリを開こう。（「『鳥獣戯画』を読む」）</p>		

【取組内容】 SNSマナーアップ講座 (6年国語×情報モラル教育)

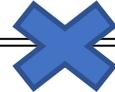
次頁の情報モラル教育カリキュラムに国語科単元をタイアップさせて取り組んだ。

単元名

構成を考えて提案する文章を書こう

目標

- 原因と結果など情報と情報との関係について理解する。
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。
- 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。



○ねらい

SNSをめぐるトラブルや危険性について理解し、自分たちの生活やSNSの使い方について振り返ることができる。

SNSマナーアップ講座

児童の成果物

【取組内容】 情報モラル教育についての各学年カリキュラムの作成

情報活用能力の育成

優れたデジタル市民になるために、必要な能力を身につけることを目的としたデジタルシティズンシップ教育を行ってきた。いつ、何をすべきか一目で分かるように、情報モラル教育についてのカリキュラムを各学年ごとに立てた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生						約束やきまりを守る	学習に関係のない写真を撮らない	決められた利用の時間を守る	関係のないサイトを見ない	関係のないことを検索しない	授業以外での使い方	小櫛っ子活用ルールの再確認
2年生		小櫛っ子活用ルールの確認	決められた利用の時間や約束を守る。(文科省情報モラル学習サイト「使いすぎについて」がええる)		危険なサイトに近づかない。	不適切な情報に出会わない環境で利用する。		知らない人に連絡先を教えない。		決められた利用の時間や約束を守る。		道徳教材「たんじょう日カード」(B礼儀)
3年生		小櫛っ子活用ルールの確認 情報を発信する場合のルール・マナーを知り、守る(共用・クラスルームの約束)	道徳教材「ひみつの手紙」(情報モラル) 相手の影響を考えて行動する(SNSノート)	不適切な情報に出会ったときの対応(SNSノート)		情報には誤ったものがあることに気付く	個人の情報は他人にもらさない	健康のために利用時間を守る(SNSノート)	健康のために利用時間を守る(情報モラルe-learning)	危険に出会ったときの対応(SNSノート)	ゲームソフトの貸し借り	スマートフォン・タブレットの利用のマナー(情報モラルe-learning)
4年生		情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る(クラスルームの約束を知る)	相手への影響を考えて行動する(SNSノート)	不適切な情報に出会ったときの対応		個人の情報は他人にもらさない(SNSノート)	自分の情報や他人の情報も大切に	健康のために利用時間を守る(SNSノート)		情報には誤ったものもあることに気づく	危険に出会ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する	不正使用や不正アクセスされないようにする
5年生						使いすぎでないかな	写真を公開する前に	他者や社会への影響を考える	ネット詐欺	SNSの書き込みの影響	悪口を書かれたら	
6年生			情報を公開する前に考えよう(SNSノート)		1年生のクロームブックやの初期設定をする。	情報機器の効果的な使い方を考え(総合的な学習の時間・PT活動)		学校のみならず発信する				